
2018年度

JASSO協定派遣プログラム（「中国語演習」集中授業・「海外中国語研修B」を含む）
「『同文同種』の両面性を活かす国際的リーダーシップ開発プログラム」

募 集 要 項

国立大学法人横浜国立大学

国際戦略推進機構



< 目 次 >

1. 目的	3
2. プログラムの実施時期・実施期間・実施場所・募集人員	3
3. プログラムの内容・日程	3
4. 応募資格	3
5. 応募方法	4
6. 選考	4
7. 事前研修等	5
8. 経費	5
9. 参加時間・休日	5
10. 報告書の提出	6
11. 事後研修（報告書、アンケート提出及び報告会）	6
12. 問い合わせ先	6

1. 目的

本学の第3期中期目標においては、日本人学生の海外留学および語学力強化の重要性が強調され、21世紀グローバル新時代において国際舞台で活躍できる人材の育成が求められています。

一方で、隣国中国との関係について、使う文字も人種も同じであるとして、かつてよく「同文同種」という用語で示されています。しかし、今日、「反日」「嫌中」という造語が生まれたほど、両国の国民感情が悪化しています。「親近」と「憎悪」はまさに「同文同種」の両面性を表しています。一つは、プラスの面、両国がお互いの共通点を見出すことにより親近感を生み出すこと。もう一つは、マイナスの面、両国が漢字文化圏だから文化や慣習まで似ていると無意識的に錯覚し、勝手に自国の物差しで相手国を批判することです。

本プログラムは、中国語を履修している学生を中国現地へ派遣し、上記の「同文同種」の両面性に配慮した実習・討論・体験・見学・語学研修を通じて、下記のように、国際的リーダーシップの発揮に必要とされる協調性、柔軟性、主体性、積極性を養成することが目的の一つです。

①協調性と柔軟性：日中両国のあるべき関係に関しては、国民性や発展段階の相違により、お互いに異なる物差しを持っているのだということを認めたくえで、両国の共通性や協力可能な分野を検討します。

②主体性と積極性：中国で遭遇した想定外の状況を前に主体性をもって冷静に考え、自立的に動きます。さらに積極的に中国現地の人々と意見をぶつけ合うことで相互の食い違いを確認し、その解決策を考えます。

プログラムの主な内容である中国語集中授業については、参加学生が文化面の相違によって同じ漢字への両国民のイメージが必ずしも一致していないことを確認できるように、現地での中国語特訓を通して語彙力を高めさせると同時に、ミスを気にせずに積極的に中国話でコミュニケーションをとる習慣を養成させることをもう一つの目的としています。

2. プログラムの募集・実施期間・実施場所・募集人数

- (1) 募集期間：2018年4月14日（土）～4月26日（木）
- (2) 実施期間：2018年9月9日（日）～9月22（土）14日間
- (3) 実施場所：華東師範大学（上海）
- (4) 募集人数：8名

3. プログラムの実施内容・日程

- (1) 9月10（月）～9月14日（金）、9月18（火）～9月19日（水）
「中国語演習」集中授業/「海外中国研修B」（午前）
- (2) 9月17日（月）・20日（木）：企業見学（午前）
- (3) 9月11日（火）～9月19日（水）：学生交流と実習（午後）
- (4) 9月20日（木）：学習成果発表交流会（午後）
- (5) 9月22日（土）：帰国

※具体的なプログラムの内容に関しては、必要に応じて微調整することがあります。

4. 応募資格

- (1) 本学の正規の日本人学生（学部生・大学院生）であること。
- (2) 心身ともに健康であること。
- (3) 中国語、日本語または英語によって積極的にコミュニケーションがとれること。
- (4) 「中国語演習」履修説明会（4月11日、12日、13日の昼）に参加できること。
- (5) 派遣前の3回のオリエンテーション（5月、6月、7月）に参加できること（必須）。
- (6) 「中国事情I」の受講

(7) 「海外旅行安全対策・危機管理」の受講

5. 修得単位

- ①「中国語演習」(2単位)
- ②「中国事情Ⅰ」(1単位)
- ③「海外旅行安全対策・危機管理」(1単位)
- ④「海外中国語研修B」(2017年入学者むけ、2単位)
- ⑤「民間外交実習」(2単位)

※③～⑤の単位は、卒業単位に算入されるかどうかは各学部等によって、取扱いが異なります。

6. 応募方法

以下の(1)に記載されている提出書類を揃え、締切日までに国際教育課(栗林)もしくは于へ申請してください。

(1) 応募書類(※各応募書類の注意書きを必ずご確認ください。)

- ① 申込書
- ② 成績証明書
- ③ 学生証のコピー
- ④ 語学力を示す資料(語学検定のスコア等がある場合、写しで可。)

(2) 提出先 紙媒体:学務部国際教育課 JASSO中国語プログラム2018担当(栗林)

データ:yu-chen-rc@ynu.ac.jpへ送信してください。

(件名は「JASSO中国語プログラム2018」)

【応募に際しての注意事項】

- ① 応募書類は一切返却しません。
- ② 応募は全ての書類を揃えてから行ってください。
- ③ 不足・不備のある書類、資格要件を満たさない内容の書類は選考の対象外となります。また、締切期限を過ぎて提出された応募書類は、受け付けません(書類内容をよく確認の上、提出してください。)
- ④ 選考結果などに関するお問い合わせや、日程・通知方法に関する個別の要望には一切お答えできません。
- ⑤ 参加時には、危機管理サービスOSSMA及びOSSMAセット型保険に加入して下さい。
- ⑥ 参加にあたって、保護者の同意を得てください。

※ 応募書類に記載された個人情報、本プログラムの実施運営に必要な選考、有資格登録、各種手続き、緊急連絡先の把握、フォローアップ調査、実績の取り纏め、統計データの作成等の目的以外には使用しません。また、合格に至らなかった場合は、一定の期間の後、本学の責任のもとで適切に廃棄します。

(3) 申請締切 2018年4月26日(木) 17:00 必着

7. 選考

(1) 選考方法

選考は、書類審査、中国語オンラインテスト、ならびに面接審査によって行われます。

(2) 選考結果の公表 5月12日（土）までにメールで連絡します。

8. 事前研修等

オリエンテーションに参加してください（必須）。

◎開催日時・開催場所については、別途、メールにて、連絡します。

9. 海外社会研修に係る経費

●参加にかかる経費 約 115,456円

○ 渡航費	約 43,000円	(羽田/成田空港～上海)
○ 現地授業料 (華東師範大学)		
(1) 申込料	400円	(6,725円)
(2) 学費	1800円	(30,251円)
○ 現地滞在費 (華東師範大学)		
(3) 宿泊費	1430円	(24,040円)
○ 危機管理サービス料		
	OSSMA	3,240円
○ OSSMA セット型保険		
		8,200円 (プランB)
	合計	約115,456円

● 日本学生支援機構から6万円の奨学金を支給します。

※航空運賃は、予約時期により、異なります。

※申込料、学費、宿泊料は、1元=16.81円で換算しています。為替レートにより、変動します。

海外社会研修中の事故により傷害を負った場合は、OSSMAセット型保険により対応いたします。

セット型保険 (※プランB) による補償内容	
傷害死亡・後遺傷害	100万円
賠償責任	1億円
治療・救援費用	1億円
携行品損害	20万円
航空機遅延	2万円
航空機寄託手荷物	10万円

ただし、以下の経費は含まれません。

- ・自宅から羽田もしくは成田空港までの往復交通費

- ・渡航手続きにかかる一切の費用（パスポート取得に係る経費等）
- ・超過荷物輸送料 ・滞在中の食事代等
- ・現地交通費、その他個人的費用（小遣い・電話代・お土産代等）

10. 報告書の提出

プログラム参加後、報告書等を提出してください。

11. 事前事後アンケート提出及び報告会等

本プログラムに関するアンケートを提出してください。

終了後に現地で開催される学習成果発表交流会および帰国後の学内報告会に必ず出席してください（必須）。なお、本プログラムの成果など大学ウェブサイトのトップページ、ならびに大学が発行するパンフレットなどを通して学外へ発信する。また、オープンキャンパスなどの場において本プログラムのことがアピールされることがある。そのさい、協力してください。

お問い合わせ先

横浜国立大学国際戦略推進機構基盤教育部門

JASSO中国語協定派遣プログラム担当

于 臣（ウ シン）

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-2
教育学部第二研究棟308室

TEL: 045-339-3473

090-9334-2280

E-mail : yu-chen-rc@ynu.ac.jp